

## 全社取組の変化: 業務標準化⇒業務改善へ活動強化

### 【NSKステアリングシステムズ株式会社】

#### I. 活動の種類

##### 【1. 運営事例】

- TOPの理解と関心  活動の意義と嬉しさの体験  ほめる
- 事務局の充実による牽引力強化  計画的な指導員育成
- 活動の目的とゴール明確化と実行  その他( )

##### 【2. テーマ事例】

- 段取り力向上  業務改廃
- プロセス改善  再発防止
- その他( )

#### II. アピールポイント

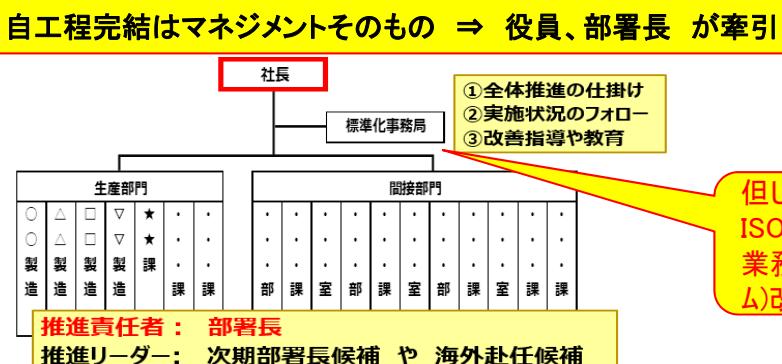
自工程完結の考え方を使った全社活動運営について、FY2012全社取組スタート時からFY2017まで、**変えてない事・変えた事**を紹介します。  
 ⇒何の為の活動か?  
 ⇒「やるべきこと」はいったい何なのか?  
 活動意義について原点回帰した事例です。

#### III. 背景

全社取組スタート時(FY2012)当初は、急拡大する海外展開の中で、**このままでは国内外の技術や品質の移管と伝承が出来ない、と言う危機感**からJKKの考え方を使った業務標準化の活動がスタート。その後毎年振り返り進め方を見直しながら活動を推進しています。

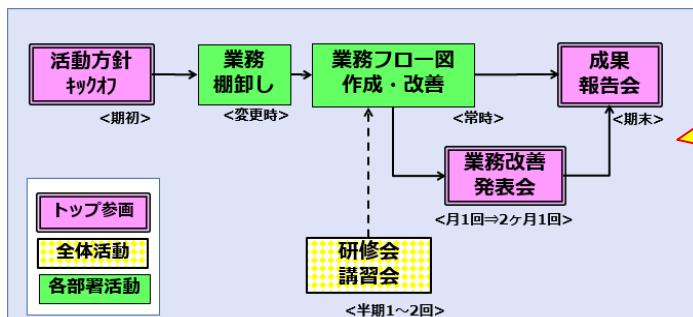
#### IV. 運営の変遷

##### 【変えてない事 その1】: 推進組織



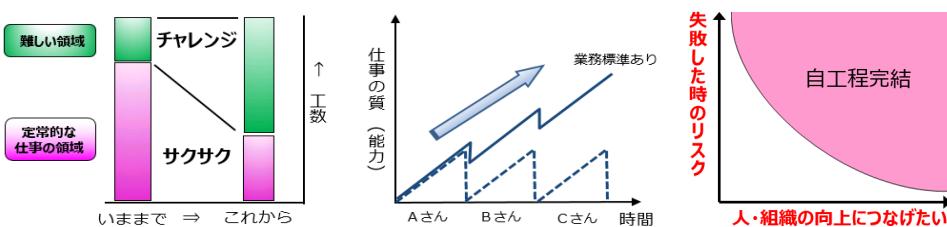
##### 【変えてない事 その2】: 基本的な活動の流れ(毎年・毎月・定期)

『学ぶ場』『褒める場』など仕組み・仕掛けを整備し、活動を活性化  
計画した事を愚直に実行しPDCAを回す



##### 【変えてない事 その3】: 自工程完結の考え方を導入した意図を語ること

全体が集まる度に何でこういう活動をするのかを必ず語る



## IV. つづき

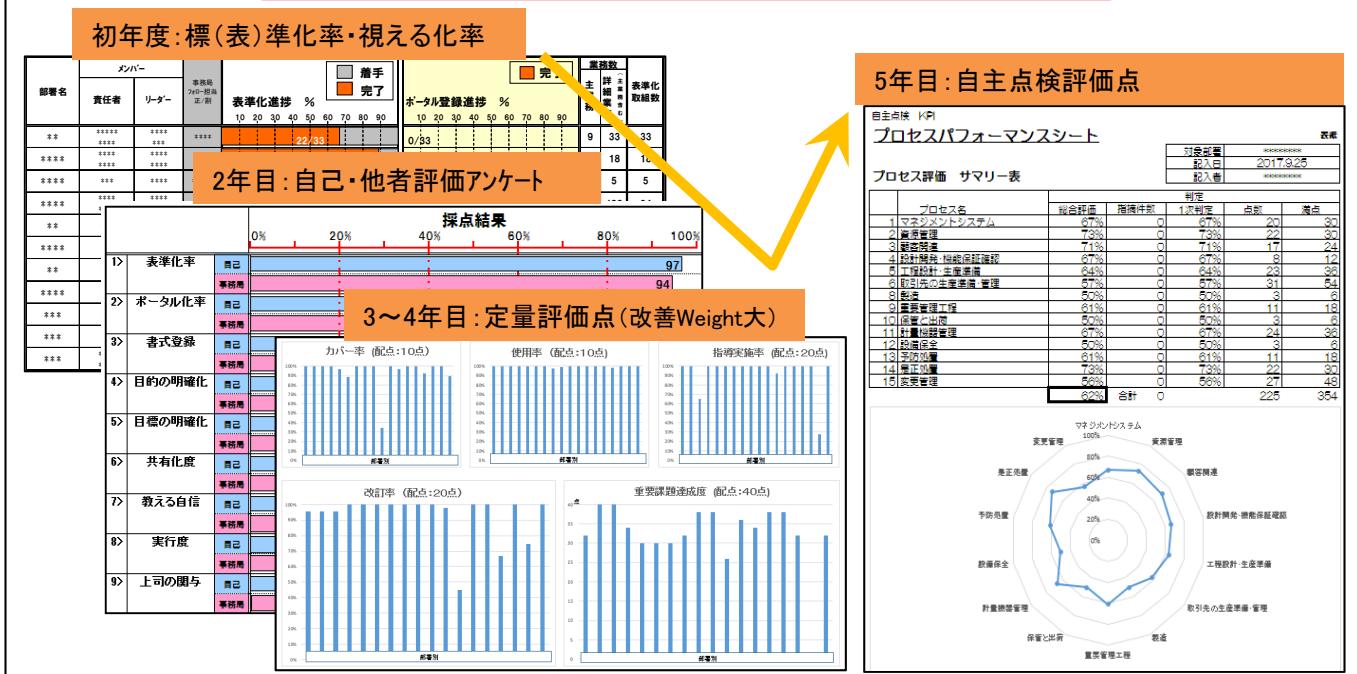
### 【変えた事 その1】: 活動名称・目的の表現

#### 改善意識を定着させるために活動名称見直し

初期 FY2012		現在 FY2017	
活動名称	業務標準化活動	業務改善活動	
目的	後工程から手戻りせず 効率的に仕事が進められる 業務標準を提供する	後工程やその先のお客様に 業務標準で仕組みとして共有された 良い仕事(アウトプット)を提供する	
理由	活動初期は有る程度強制的に仕事を見える化させるため「業務標準化」という表現はそれなりに有効だった。しかし、一旦標準化すると安心してしまい改善の足を止めてしまう人/部署がある事から、「業務改善」に表現を変更		

### 【変えた事 その2】: KPI (活動指標)

#### 導入初期～現在までに毎年 KPIと目標値を見直しながら運営



## V. 結果、今後の進め方、所感

### 1) 実施結果・所感

- ①業務改善の活動をQMS(品質マネジメントシステム)に落し込み、愚直に活動を継続する事で、確実にプロセス重視の考えが定着してきている。
- ②業務改善については、登録テーマは進めるものの、「テーマ活動のため」から脱却できていない職場はまだ多い。
- ③せっかく見える化した業務を使用する仕組みが甘く、自立的に足跡を残しながらPDCAを回せるレベルの職場はまだ多くない。

### 2) 今後の進め方

- ①基本的な活動は継続
- ②「テーマ活動のため」から脱却させる運営
- ③うれしさや気付きを得られる活動・仕組み作り
  - ・モチベーションがあがる教育・指導方法の研究と導入
  - ・トヨタ様やJKK取組他社様との情報共有による気付きを自社活動へ生かす